

高成長を続け、世界市場でのプレゼンスを高めている2大国にいかに対応するのか？

# 「インドと中国」医薬品2大成長市場と 日本企業の対応セミナー

インドと中国の医薬品市場とアウトソーシングビジネスを専門研究者が提言・解説！

## ◆講師・講演順◆

甲南大学 経済学部 非常勤講師 上池 あつ子 先生

インド医薬品政策と医薬品企業動向分析の気鋭の研究者として講演・執筆等を中心に精力的に活動されています。インドの医薬品産業の動向と生産・研究開発のアウトソーシングビジネスについてご講演いただきます。

主な著書：「日本のジェネリック医薬品市場とインド・中国の製薬産業」（共著；アジア経済研究所）

セジテム・ストラテジックデータ株式会社 ユート・ブレン事業部

シニアコンサルタント 沈 友敏

ユート・ブレンより1996年以来毎年発刊され、好評の「中国医薬品市場レポート」の執筆者です。ダイナミックな変貌を遂げる中国医薬品市場の動向と欧米・日本企業の活動に焦点を当ててお話をさせていただきます。

◆開催日時◆ 4月22日（金）13:00～16:15

◆会場◆ ホテルフロラシオン青山（東京：港区）

◆主催◆ セジテム・ストラテジックデータ株式会社 ユート・ブレン事業部

## ◆セミナーのポイント◆

- ・インド医薬品産業の現況と医薬品関連政策
- ・インドと日本、欧米企業の提携やアウトソーシング
- ・インド医薬品産業の課題と展望
- ・中国の医療保険制度と医療の現状
- ・中国医薬品市場の現状
- ・日本の製薬企業の中国現地法人の対応
- ・欧米製薬企業の中国での対応
- ・医薬品流通業の現況と日本の医薬品卸の対応

## ◆開催趣旨◆

アメリカ・ヨーロッパ・日本など先進国の経済は2008年の金融危機でいずれも大きなダメージを受けました。いち早く回復して成長軌道に戻ったのが中国やインドを筆頭にした新興国です。2009年に中国はついにアメリカを抜いて世界一の自動車販売国となり、インドもIT産業などを中心に脚光を浴びています。世界的に進む地殻変動は医薬品業界も例外ではありません。欧米・日本の先進国市場では少子高齢化の進展で医療費の圧縮が叫ばれ、後発品振興策や薬価の締め付けが共通の施策になっています。それに対し、中国とインドの医薬品市場は高い伸びを続けています。日本はじめ先進国の医薬品企業にとっても中国・インドを中心とした新興国市場の取り込みが極めて重要になってきました。

中国は世界最多の人口を抱え、「世界の工場」として発展してきましたが、現在では次第に「巨大な消費市場」としても注目されています。国家体制や商慣行の違いもありますが、日本の隣国であり、歴史や文化の面でも深い結びつきがあります。一方、インドはITを始めとして理工系に強いことが評価されており、米国を中心に医薬品研究開発のアウトソーシング先として存在価値が高まってきました。日本では第一三共がインド最大手「ランバクシー」を買収したことで一躍脚光を浴びた観があります。

上記のような状況を踏まえ、当セミナーではインドと中国の医薬品市場の最新の状況や日本との関連、欧米企業の対応などについてそれぞれ専門の研究者にお話いただく予定です。上記開催趣旨を踏まえ、ぜひ当セミナーにお申し込みいただきますようお願い申し上げます。

# スケジュール・演題

- 13:00~14:30 第1講義 「インドの医薬品産業の動向とアウトソーシングビジネスの現況」  
甲南大学 経済学部 非常勤講師 上池 あつ子 先生
- 14:30~14:45 コーヒーブレイク
- 14:45~16:15 第2講義 「中国の医薬品市場の現況と日本・欧米企業の対応」  
セジテム・ストラテジックデータ株式会社 ユート・ブレン事業部  
シニアコンサルタント 沈 友敏

※都合によりスケジュールが変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

## 実施要綱

- 日 時: 2011年4月22日(金) 13:00~16:15
- 場 所: ホテルフロラシオン青山 東京都港区南青山4-17-58 TEL 03-3403-1541(代表)
- 対 象: 製薬企業・医薬品卸の営業幹部、国際・海外部、アジア地区担当者、経営企画、営業企画、マーケティング、研究開発、本社のマネージャー他
- お申込期限: 2011年4月20日(水) 午前中※定員になり次第締め切らせていただきますので、お早めにお申し込み下さい。
- お申込方法: 下記申込用紙に必要事項をご記入の上、FAXでお送りいただくかE-Mailにてお申し込み下さい。  
尚、お電話でのお申し込みは受付できませんので、ご了承いただきますようお願い申し上げます。  
※お申し込み受付後、①申込受付確認のFAXまたはメールをお送りいたします。  
②受講票と会場案内図を郵送いたします。  
尚、受講料につきましては、請求書をお送りいたしますので、指定の口座へ請求日翌月末までにお振り込みください。  
振込手数料につきましてはお客様にてご負担をお願いいたします。当日受付での現金の取り扱いは行っておりません。
- 受 講 料: 1名様 29,400円(資料代、飲物代、消費税含む)  
※受講申込みを取り消される場合は4月20日午前中までに下記セミナー事務局までご連絡下さいますようお願いいたします。それ以降に取り消された場合は、キャンセル料1名様につき5,250円(消費税含む)を承ります。  
尚、当日キャンセルの場合は受講料の返金は致しかねますのでご了承下さい。  
お申し込みされたご本人が出席できない場合は、代理の方の出席も可能です。
- お申込・お問い合わせ: セミナー事務局〔担当/中村・宇澤〕  
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-1-11 繊維会館 TEL:03-3270-8741 FAX:03-3270-8700

- 講義の録音・録画、会場での携帯電話のご使用はご遠慮ください。
- ご質問・ご要望等がございましたら、お申込みの際にお書き添えください。
- セミナー開催日の前日までに受講票等がお手元に届かない場合は、上記セミナー事務局までご連絡ください。

## 「インドと中国」医薬品2大成長市場と日本企業の対応セミナー申込書 2011年4月22日

貴社名		
ご住所	〒	
TEL:( )	—	FAX:( ) —
参加される方のお名前	所属部署・お役職名	
		(E-mailアドレス: <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> プライベート)
		(E-mailアドレス: <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> プライベート)
		(E-mailアドレス: <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> プライベート)
連絡担当者		(E-mailアドレス: <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> プライベート)
通信欄(複数名でのお申込みの場合の請求先・送付先)		
お申し込みFAX番号→03-3270-8700 お申し込みEメールアドレス→seminar@utobrain.co.jp		

E-mailアドレスにつきましては、会社でご使用のものをお持ちでしたら、そちらをご記入いただきますようお願いいたします。  
※申込書にご記入いただいた内容を元にセミナーや書籍等のご案内を弊社より送付させていただくことがございます。

【1103 HP】